

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責/園長 石川照代）



果実が結実するためには受粉が必要です。しかし、オリーブは自家受粉しにくく、一本だけ植え付けても実つきが悪い傾向にあるそうです。調べてみると、開花期の近い別の品種を側に置くことで受粉がうまく行われ、果実を収穫できるとありました。そのため木を「受粉樹」と言います。そこで、早速、2本目のオリーブを買いました。「来年は楽しみー!」と思っていたところ、なんと、元からあった木に実が一粒のついているではありませんか? 「奇跡だー!」

実は日に日に成長しています。昨年は頭の隅にも無かったくせに、今年は、「台風が来たら玄関に入れなきゃ!」と思う現金な自分がいます。「来年は、子どもたちと収穫したオリーブをどうやって味わおうか?」妄想は果てしなく膨らみます。



奇跡のオリーブと「受粉樹」

「うみたまご」見学のその後

先日、絵本の部屋に侵入する? 年長さん数名を発見! 「なんでここに来たの?」聞くと、海の生き物の本を探しているとのこと。おや? A君が真剣に探している! Aくんはサメの本を探していた。一緒に探した。見つからなかった。A君の「〇〇が作りたい!」という思いが冷めないようにしたかった。担任の先生に許可を頂き、園長室に行き、パソコンで画像を検索した。「どれがいい?」短い時間だが、二人で話しながら探すのは楽しかった。A君と心が触れ合うのを感じた。水族館見学の教育的価値は計り知れない。A君は、「有難うございました」と確かに言って帰って行った。



「STEAM教育」って何のこと?

「STEAM (STEイーム) 教育」は、文科省が二十一世紀型教育の方向性を示すのに使用しているキーワードの一つです。

- ・ S | サイエンス (科学)
- ・ T | テクノロジー (技術)
- ・ E | エンジニアリング (工学)
- ・ A | アート (芸術)
- ・ M | マセマティクス (数学)

二〇年後三〇年後を見据えて、激変する社会の変化に対応できる人材の育成には何が必要か。来年度から小学校に導入される「プログラミング教育」もこの流れでしょう。

さて、注目すべきは「A」です。アート(芸術)が入っていることに、「なぜ?」と思う方はいませんか? 美術教育を少々研究してきた私は、「よし」とガッツポーズをしました。十年ほど前は、美術(図工)などという教科はもう要らないと言われていたからです。ではなぜ、アートが必要なのか?

人間は、ある程度ハイスペックな機能に満足すると、次に求めるのは「美しさ」です。より洗練された、若しくはより個性的な「美」を志向します。「美」を生み出したり取り入れたりするのは、人間ならではの能力であり、そこで発揮されるのは「感性」や「創造力」です。「人間らしさ」を理由づけるこれらの能力は、AI(※1)にも、容易に真似ることができません。これを育むことに最も効果があるのが「芸術教育」なのです。

これからの「機能と美」を兼ね備えたあらゆる「ものづくり」には、芸術的な能力が欠かせません。そのためにはアート教育の振興が必要だということなのでしょう。因みに、宇宙への移住の夢を追いかけるNASA(※2)は、既に火星基地の「デザインコンテスト」を開いています。

ところで、先日の家族PTAで、こんな表示が掛かっていました。幼稚園では、昔から「創造力」や「感性」を育んでいますよ! ねっ!

※1:人工知能
※2:アメリカ航空宇宙局



◎今年度の園長便り、ホームページを通した、「情報発信」も兼ねています。教育の最新情報を織り交せてお届けします。